

平成27年度施策評価シート

基本施策	生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
総合計画での位置付け	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	分野	5	上・下水道
主要な計画			
基本施策を実施する背景や課題・目的	<p>・本市における下水道の普及率は約93%、水洗化率は約82%(H21年度)となっている。</p> <p>・本施策は、豊かで美しい自然のなかで、飛騨地域の中核都市として利便性の高い都市的サービスを受けながら安全で快適な暮らしを実感できる「すみよさ」のあるまちづくりをすすめるため、生活環境の向上と流域の水質保全を図ることを目的としている。</p>		

1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当部局
1 下水施設の整備	ア 地域の特性に応じた施設の整備や統合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口規模に応じた下水道施設及び管きよを整備した。 ・管きよ整備については、国府、奥飛騨温泉郷地域の一部を残し、市の整備計画の大部分が完了した。 	水道部
	イ 老朽化した施設の更新や耐震補強整備	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川終末処理場は長寿命化計画に基づき長寿命化工事を行った。また、下水道管きよについてはカメラ調査を継続的に実施しており、破損箇所は修繕を行い、長寿命化を図った。 ・宮川終末処理場の管理棟の耐震工事を行った。農業集落排水施設は耐震性を有していることを確認した。 	水道部
	ウ 雨水対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水路整備は平成5年度までに完了しており、老朽化した箇所の修繕を随時実施して雨水排水機能の維持に努めた。 	水道部
	エ 汚泥の有効活用や処理施設周辺の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥を消化(減量)させる際に発生するメタンガスを汚泥焼却炉等の補助燃料として活用した。また、焼却後の汚泥焼却灰は、民間でレンガや畜産用商品の原材料の一部として利用された。 ・処理場は花木の植栽を行い、景観等への配慮を行った。 ・悪臭物質の測定を定期的に行い、臭気による近隣への影響がないことを確認した。 	水道部
2 水洗化の普及	ア 普及活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・未水洗化世帯に対し、啓発文書の発送、戸別訪問などを実施し、水洗化の普及に努めた。また同時に、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知を図った。 	水道部
	イ 下水道事業の処理区域外における浄化槽の設置に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理区域外における浄化槽設置に対して補助を行った。 	水道部

2 指標の推移

指標名	単位	関連施策	好ましい方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
公共下水道普及率	%	1-ア	↑	99.5	99.6	99.7	99.7	99.9	99.9	100.0
特環下水道普及率	%	1-ア	↑	93.0	94.6	94.7	95.3	95.8	96.1	96.0
汚泥焼却灰有効活用率	%	1-エ	↑	49.9	49.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
水洗化率(高山市全体)	%	2-ア	↑	82.9	84.0	84.9	86.6	87.0	87.4	89.0
浄化槽設置整備補助金交付件数	件	2-イ	→	32	31	25	22	18	15	29

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21	点数	69.1	(平均) (54.6)	81.6	(平均) (79.7)	Ⅱ	やや高い
	順位	42施策中 2番目		42施策中 18番目			
H25	点数	73.0	(平均) (56.9)	85.5	(平均) (81.8)	Ⅱ	やや高い
	順位	43施策中 2番目		43施策中 15番目			
H27 (今回)	点数	73.9	(平均) (56.0)	84.2	(平均) (81.2)	Ⅱ	やや高い
	順位	43施策中 2番目		43施策中 16番目			

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		水道部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	下水施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道(高山)、特定環境保全公共下水道(国府、奥飛騨温泉郷地域)で管きよ整備を順次行った。公共下水道の普及率は99.9%、特環下水道の普及率は96.1%となった。 公共下水道宮川終末処理場は長寿命化計画に基づき機器更新を行った。また管きよについてはカメラ調査及び修繕により、排水機能の維持を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道未整備地区の解消に向けて、管きよ整備の推進を図る。 下水道処理施設については、長寿命化計画の策定を行い、計画的に長寿命化を図りながら、適正な稼働状況を継続する。
2	水洗化の普及	<ul style="list-style-type: none"> 下水道未整備地域の解消に向けて、管きよ整備の推進を図っており、水洗化も87.4%まで向上した。 下水道事業の認可区域外においては、浄化槽設置に対する補助を行うことで、水洗化を促進させるとともに、公共水域の水質保全及び生活環境の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備区域内の未水洗化世帯に対して、啓発文書の発送、戸別訪問を実施し、水洗化の普及に努める。また同時に水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知を図る。 浄化槽の設置に対する補助制度を継続し、水洗化を進める。

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対策や耐震補強が必要な下水道施設(処理場)が多い。 ・多くの下水道管きよが今後老朽化対策が必要となってくる。 ・下水道整備済地域でありながら繋ぎ込みをしない住宅等がある。 <p>といったことが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度および今後の重要度も高くなっていることを踏まえ、快適な暮らしを支えるとともに流域の水質を保全する下水道の適正な維持管理と整備に取り組んでいく必要がある。</p> <p>特に、経営の安定化を図りながら、老朽化対策(長寿命化を含む)や耐震補強等を着実に進める必要がある。</p> <p>また、水質保全や投資効果の面から、下水道整備済地域については、確実に繋ぎ込みを促進する必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道の普及率は非常に高く、評価できる。 ・未整備地域の早めの解消と、下水道整備地域内の未水洗化世帯を減らす取り組みが必要である。 ・指標の推移を見ると、H25年以降の水洗化率が低いことが気になる。下水道普及の実現のために、生活困窮者に対する応分の融資と助成が必要である。

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連 施策	事業 コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	11100	管きよ建設事業費	90	71,692	24,277
1-ア、イ、エ	11220	処理場改造事業費	88	507,816	670,401
1-ア	12100	特定環境保全管きよ建設事業費	80	113,654	189,226
1-ア、ウ	22100	管きよ管理費	90	53,220	51,602
1-ア、エ	22200	終末処理場管理費	88	243,841	257,639
1-ア	23100	特定環境保全管きよ管理費	90	32,820	29,390
1-ア、エ	23200	特定環境保全終末処理場管理費	88	185,408	194,776
1-ア	22100	農業集落排水管きよ管理費	90	27,251	47,089
1-ア	22105	農業集落排水処理場管理費	88	161,485	172,162
1-ア	22200	簡易排水施設管理費	88	3,523	3,649
1-ア	22300	小規模集合排水施設管理費	88	7,425	8,286
1-ア	22400	個別排水施設管理費	88	4,776	4,944
1-ウ、2-ア	21100	一般管理費	75	92,488	85,409
1-ウ、2-ア	21100	農業集落排水一般管理費	75	11,645	12,231
2-イ	42115	浄化槽設置整備事業費	70	16,389	16,069

平均点	H25年度	H26年度
85.07	1,533,433	1,767,150